

学 生 便 覧

— 履修と学生生活のてびき —

令和 5 年度入学者用

山形大学理学部

2-2 基盤専門教育科目の卒業要件と履修方法

- (1) 理学共通科目は、「理系のキャリアデザインA」1単位、「サイエンスセミナー」2単位及び「理系のキャリアデザインB」1単位を含む6単位以上を別表1の科目群から修得すること。

別表1

区分	科目群	授業科目	開 講 期 及 び 単 位 数								備考
			1 年		2 年		3 年		4 年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	
理 学 共 通 科 目	キャリアデザイン	●理系のキャリアデザインA	1								1T 開講
		●理系のキャリアデザインB			1						2T 開講
		インターンシップ					2				※
	科学リテラシー	●サイエンスセミナー		2							
		放射線取扱入門						1			
	データ活用力	地域デジタルデザイン思考演習			2						
		活用プログラミング						2			
	サイエンスコミュニケーション力	サイエンスコミュニケーターA					2				※
		サイエンスコミュニケーターB						2			※
		サイエンスコミュニケーターC						2			※
	実践英語力	実践科学英語Ⅰ			2						
		実践科学英語Ⅱ				2					
		コミュニケーション英語Ⅰ			2						
		コミュニケーション英語Ⅱ			2						
		海外特別研修	1								※
	そ の 他	△課題研究								2	

●で示す科目は必修科目

△で示す科目は大学院接続プログラム履修者用

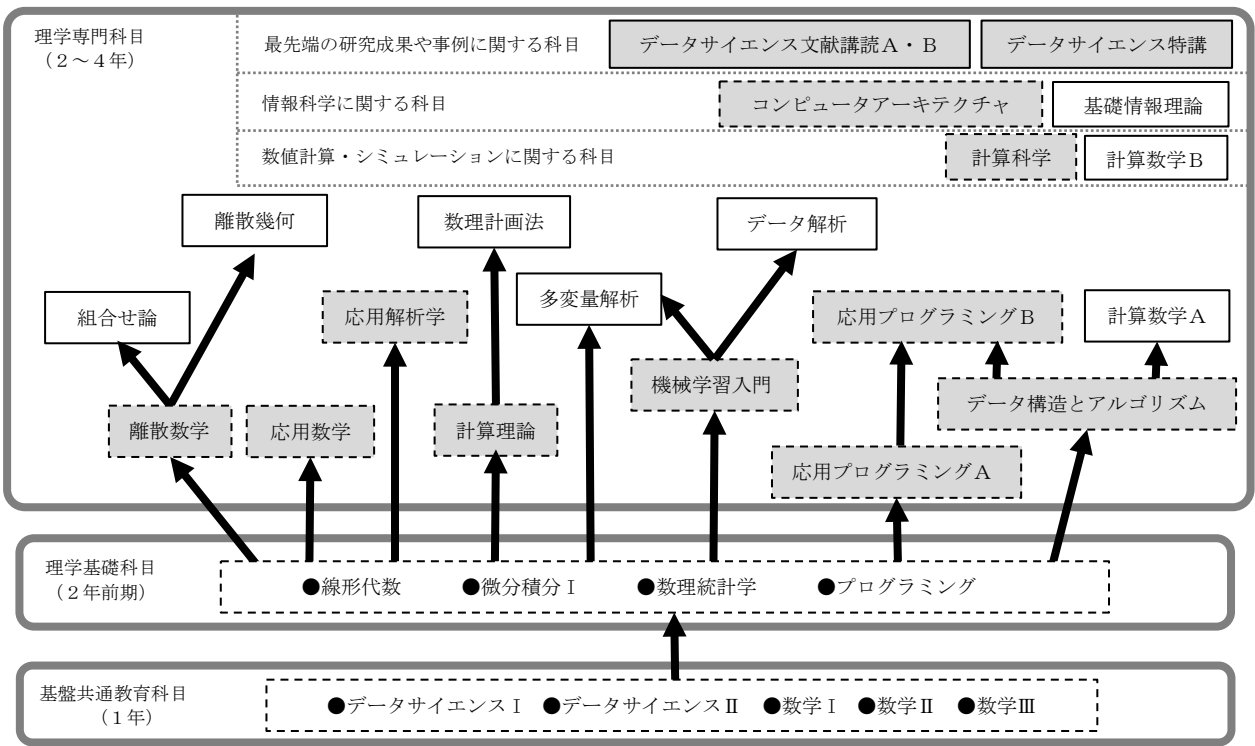
※で示す科目は実験又は実習科目となり、30時間の授業をもって1単位とする。（P32参照）

別表3-1

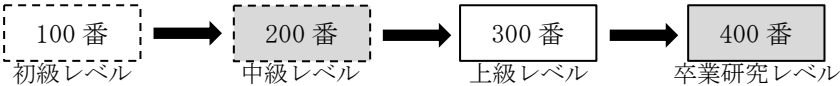
区分	授業科目	開 講 期 及 び 単 位 数								備考
		1 年		2 年		3 年		4 年		
		前	後	前	後	前	後	前	後	
理学専門科目 （データサイエンスコースカリキュラム）	コンピュータアーキテクチャ			2						
	データ構造とアルゴリズム				2					
	離散数学				2					
	応用数学				2					
	応用プログラミングA				2					
	計算科学				2					
	計算理論				2					
	機械学習入門					2				
	応用プログラミングB					2				
	応用解析学					2				
	計算数学A					2				
	組合せ論					2				
	多変量解析					2				
	計算数学B						2			
	数理計画法						2			
	データ解析						2			
	基礎情報理論						2			
	離散幾何						2			
	データサイエンス文献講読A							2		
	★データサイエンス文献講読B								2	
◇データサイエンス特講A							1			
◇データサイエンス特講B							1			
◇データサイエンス特講C							1			
◇データサイエンス特講D							1			

◇で示す科目は適宜開講
★で示す科目は大学院接続プログラムの履修者が 3 年次に履修できる。

カリキュラムツリー（データサイエンスコースカリキュラム）
必修科目



注）カリキュラムツリーにおいて、各科目ナンバリングは以下のとおり表記する。（全コースカリキュラム共通）



別表3-2

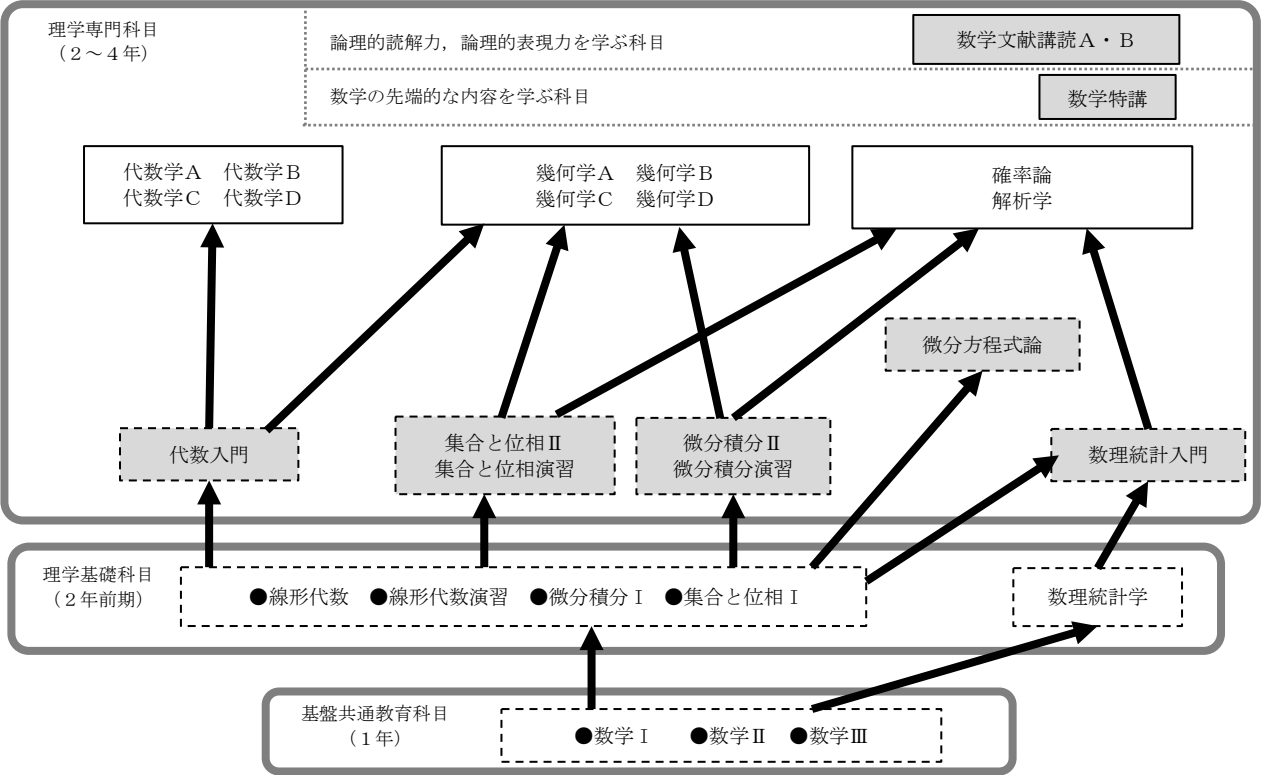
区分	授業科目	開 講 期 及 び 単 位 数								備考
		1 年		2 年		3 年		4 年		
		前	後	前	後	前	後	前	後	
理学専門科目 (数学コースカリキュラム)	数理統計入門				2					
	微分積分Ⅱ				2					
	微分積分演習				2					
	集合と位相Ⅱ				2					
	集合と位相演習				2					
	代数入門				2					
	代数学A					2				
	代数学C					2				
	幾何学A					2				
	幾何学C					2				
	解析学					2				
	微分方程式論					2				
	確率論						2			
	代数学B						2			
	代数学D						2			
	幾何学B						2			
	幾何学D						2			
	数学文献講読A							2		
	★数学文献講読B								2	
	◇数学特講A						2			
◇数学特講B						2				
◇数学特講C						1				
◇数学特講D						1				

◇で示す科目は適宜開講

★で示す科目は大学院接続プログラムの履修者が3年次に履修できる。

カリキュラムツリー（数学コースカリキュラム）
目

●必修科



IV 基盤専門教育科目（理学専門科目・物理学）

別表3-3

区分	授業科目	開 講 期 及 び 単 位 数								備考
		1 年		2 年		3 年		4 年		
		前	後	前	後	前	後	前	後	
理学専門科目 (物理学コースカリキュラム)	量子力学演習Ⅰ			2						
	解析力学				2					
	力学演習				2					
	電磁気学Ⅱ				2					
	電磁気学演習				2					
	量子力学Ⅱ				2					
	物理数学				2					
	物理学実験Ⅰ				2					※
	熱・統計力学Ⅰ					2				
	熱・統計力学演習					2				
	量子力学演習Ⅱ					2				
	放射線物理学					2				
	物理学実験Ⅱ					2				※
	電磁気学・相対論					2				
	熱・統計力学Ⅱ						2			
	量子力学Ⅲ						2			
	現代天文学入門						2			
	物性物理学						2			
	素粒子原子核入門						2			
	物理学セミナー						2			
	物理学文献講読A							2		
	★物理学文献講読B								2	
◇物理学特講A							1			
◇物理学特講B							1			
◇物理学特講C							1			
◇物理学特講D							1			

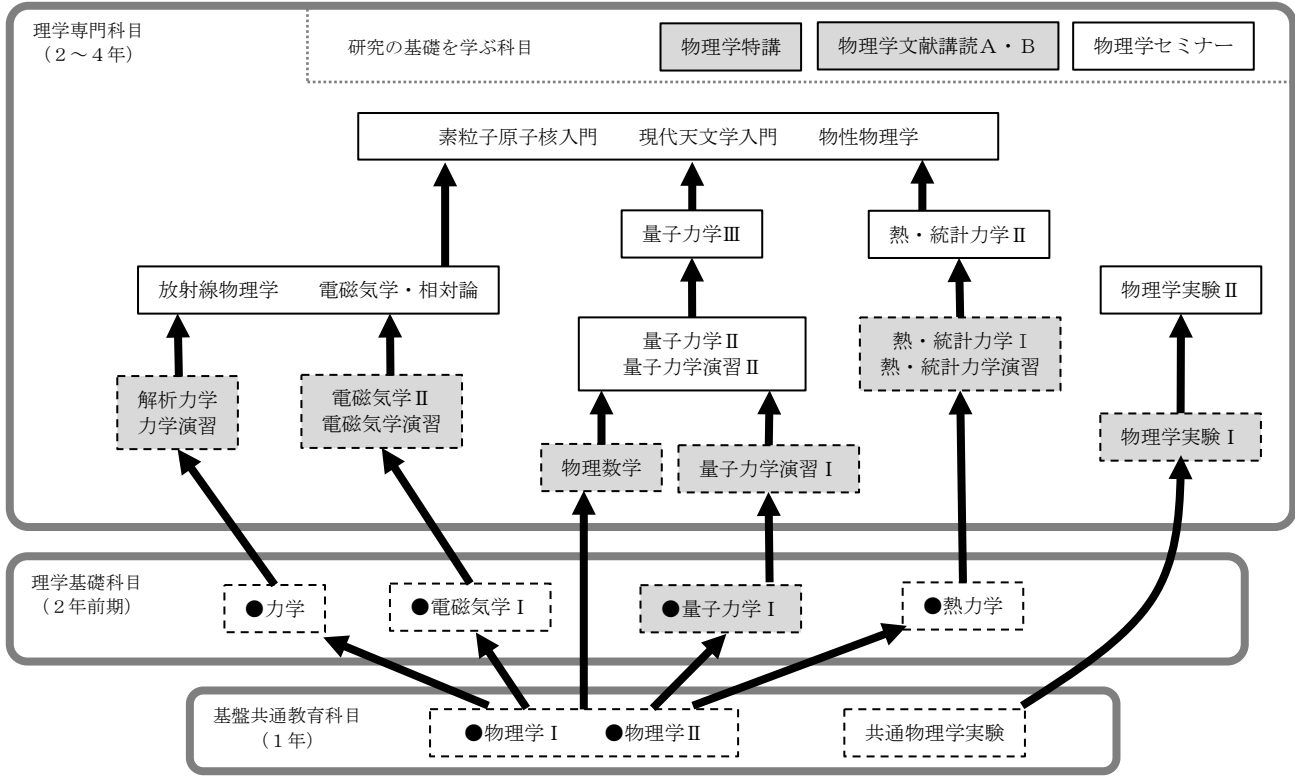
◇で示す科目は適宜開講

※で示す科目は実験又は実習科目となり、30時間の授業をもって1単位とする。（P 3 2 参照）

★で示す科目は大学院接続プログラムの履修者が3年次に履修できる。

カリキュラムツリー（物理学コースカリキュラム）

●必修科目

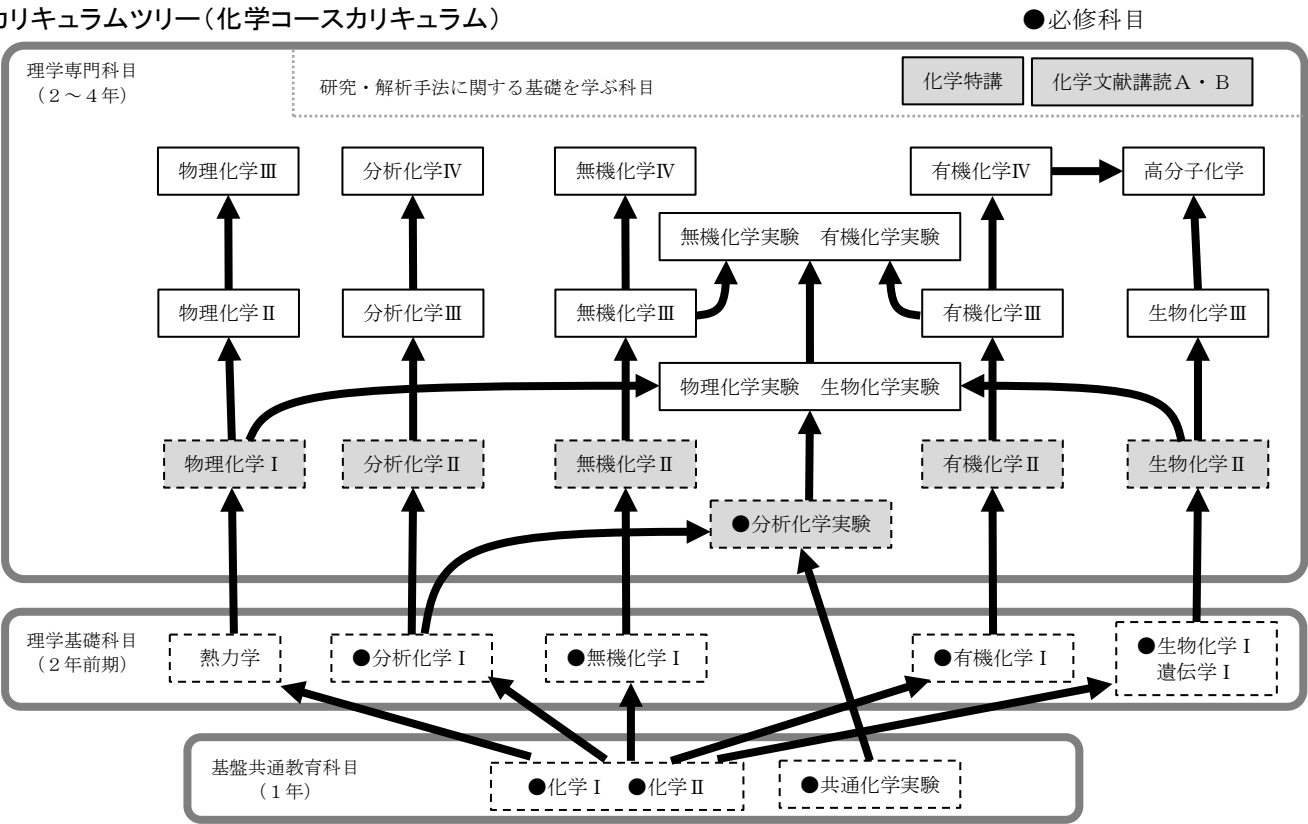


別表3-4

区分	授業科目	開 講 期 及 び 単 位 数								備考
		1 年		2 年		3 年		4 年		
		前	後	前	後	前	後	前	後	
理学専門科目（化学コースカリキュラム）	●分析化学実験			2						※
	物理化学Ⅰ				2					
	無機化学Ⅱ				2					
	有機化学Ⅱ				2					
	分析化学Ⅱ				2					
	生物化学Ⅱ				2					
	物理化学実験				2					3T 開講※
	生物化学実験				2					4T 開講※
	無機化学実験					2				1T 開講※
	有機化学実験					2				2T 開講※
	物理化学Ⅱ					2				
	無機化学Ⅲ					2				
	有機化学Ⅲ					2				
	分析化学Ⅲ					2				
	生物化学Ⅲ					2				
	物理化学Ⅲ						2			
	無機化学Ⅳ						2			
	有機化学Ⅳ						2			
	分析化学Ⅳ						2			
	高分子化学						2			
	化学文献講読A							2		
	★化学文献講読B								2	
	◇化学特講A							1		
◇化学特講B							1			
◇化学特講C							1			
◇化学特講D							1			

●で示す科目は化学コースカリキュラムの必修科目
◇で示す科目は適宜開講
※で示す科目は実験又は実習科目となり、30時間の授業をもって1単位とする。（P 3 2 参照）
★で示す科目は大学院接続プログラムの履修者が3年次に履修できる。

カリキュラムツリー（化学コースカリキュラム）

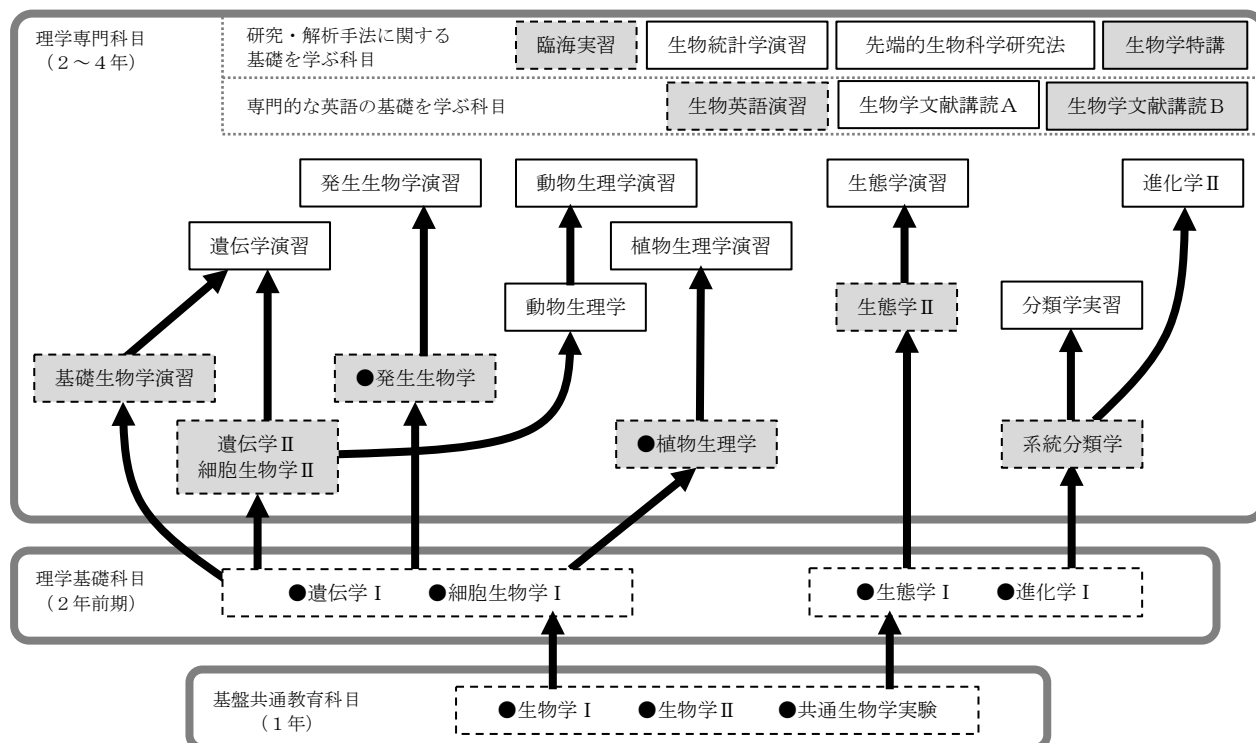


基盤専門教育科目（理学専門科目・生物学）

別表3-5

●で示す科目は生物学コースカリキュラムの必修科目
◇で示す科目は適宜開講
※で示す科目は実験又は実習科目となり、30時間の授業をもって1単位とする。（P32参照）

●必修科目



別表3-6

区分	授業科目	開 講 期 及 び 単 位 数								備考
		1 年		2 年		3 年		4 年		
		前	後	前	後	前	後	前	後	
理学専門科目 （地球科学コースカリキュラム）	●地球科学野外演習Ⅰ			2						
	地質・古生物学Ⅱ				2					
	岩石・鉱物学Ⅱ				2					
	火山・地球物理学Ⅱ				2					
	地球科学野外演習Ⅱ				2					
	地質・古生物学演習				2					
	岩石・鉱物学演習				2					
	文献調査法					2				
	地球科学野外演習Ⅲ					2				
	地質・古生物学Ⅲ					2				
	火山・地球物理学Ⅲ					2				
	地球科学研究法Ⅰ					2				
	火山・地球物理学演習					2				
	岩石・鉱物学Ⅲ					2				
	地球年代学						2			
	環境地質学						2			
	地球科学研究法Ⅱ						2			
	野外巡検							4		※
	地球科学文献講読A						2			
	地球科学文献講読B							2		
	◇地球科学特講A							1		
	◇地球科学特講B							1		
◇地球科学特講C							1			
◇地球科学特講D							1			

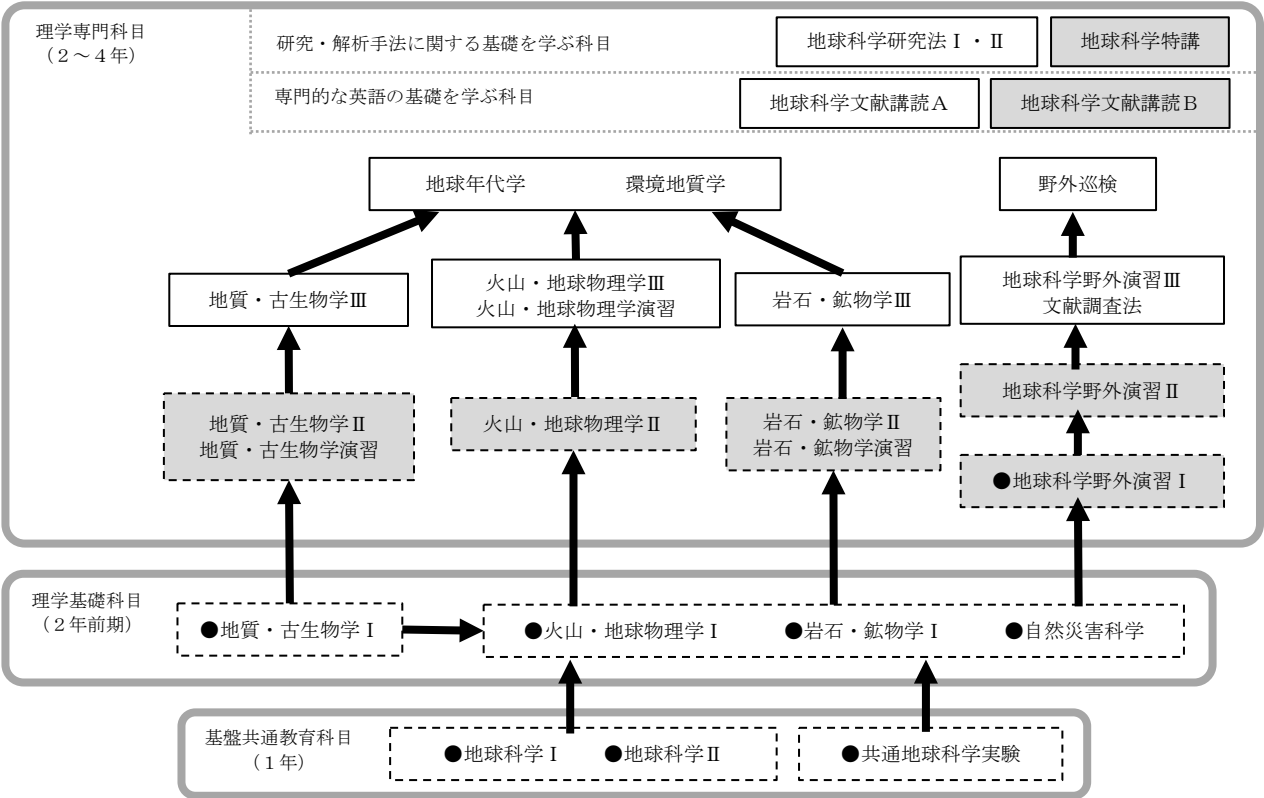
●で示す科目は地球科学コースカリキュラムの必修科目

◇で示す科目は適宜開講

※で示す科目は実験又は実習科目となり、30時間の授業をもって1単位とする。（P 3 2 参照）

カリキュラムツリー（地球科学コースカリキュラム）
目

●必修科



7. 履修上の注意

7-1 学年及び在学期間について

本学部では、4年生まで進級要件を定めておらず、1年生から4年生までは年次が進行するとともに学年が進級する、自動進級方式を採用している。なお、休学した場合も学年は進級する。

在学期間については山形大学学部規則（抄）（P 4 6）を参照すること。

7-2 履修科目の登録・取消等について

履修科目の登録について

- (1) 授業科目は、履修登録期間に学務情報システムで登録すること。ただし、実験・実習・演習科目及び「Ⅶ 教育職員免許状の取得」の「6. 『教育の基礎的理解に関する科目等』の修得について」の第6表に示す科目（P 4 2）は、受講者数による履修制限を行うことがあるので注意すること。
- (2) 登録した科目は、履修追加・取消・変更期間に必ず学務情報システムで確認すること。なお、履修の追加や取消、変更がある場合もこの期間内に行うこと。
- (3) 学務情報システムで履修登録した授業科目のみ受講することができる。
また、WebClass でコース登録することができる授業科目は、履修登録した科目のみであるため注意すること。
- (4) 本学部の授業科目の内容及び授業担当教員からのメッセージ等は、シラバスに記載されているので、十分に活用すること。
- (5) 授業時間割は、前期、後期とも年度の初めに発表する。
- (6) 臨時の授業については、その都度、必要事項を掲示する。
- (7) 「卒業研究」の履修において、山形大学放射性同位元素実験室に放射線取扱従事者として登録する必要がある者は、別表1（P 9）の「放射線取扱入門」を必ず受講すること。

CAP制について

本学部では、授業に対する修学時間を十分に確保し、授業内容を深く理解できるように、1学期ごとに履修登録することができる総単位数の上限を設けている。1学期毎に履修登録することができる総単位数の上限は、基盤共通教育科目と基盤専門教育科目を合わせて24単位である。ただし、以下の（1）に示す科目及び（2）に該当する者は、CAP制の対象外とする。

- (1) 「理系のキャリアデザインA」、「インターンシップ」、「海外特別研修」、「5. 『教科及び教科の指導法に関する科目』の修得について」の第4表と第5表に示す「各教科の指導法」の科目（P 3 9, 4 1）、「6. 『教育の基礎的理解に関する科目等』の修得について」の第6表に示す科目（P 4 2）、「博物館に関する科目」（P 4 4）、「介護等体験（含事前指導）」。
- (2) 前学期の修得単位数が14単位以上、かつ、GPAが3.00以上の者。

履修科目の取消方法について

履修追加・取消・変更期間に取消ができなかった場合は、履修取消手続期間に理学部事務室教務担当で取消手続を行うこと。これを行わずに履修を放棄した場合は、その授業の成績評価は「不合格（F）」となる。なお、病気や事故等のやむを得ない事情により取消手続ができなかった場合は、この期間に関わらず理学部事務室教務担当に申し出ること。

7-3 成績評価・単位認定について

- (1) 単位の認定は、試験・報告書・論文並びに平常の成績等による担当教員の審査に基づき、教授会が行う。
- (2) 各授業科目の成績は、評定記号（S・A・B・C・F）で表し、S・A・B・Cを合格、Fを不合格とし、配点基準は次のとおりとする。

S	100点	～	90点
A	89点	～	80点
B	79点	～	70点
C	69点	～	60点
F	59点	～	0点

- (3) 成績の評価は、学期末に行うものとする。
- (4) すでに評価を受けた成績の再評価は、原則行わない。

- (5) 成績評価に関して、疑義が生じた場合の問い合わせは、原則、該当する授業科目の成績が発表された日を含む3日以内（土・日曜日及び祝日を除く）に、「成績評価照会票」（様式は山形大学ホームページの「学生生活」タブ内の「授業について」の該当リンクからダウンロードできる。）に必要事項を記入の上、理学部事務室教務担当へ提出すること。
- なお、詳細については、理学部事務室教務担当に相談すること。

7-4 単位の基準

授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義・演習については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習については、30時間の授業をもって1単位とする。

上記の基準によって科目を履修し、成績審査に合格した科目に対して単位を与える。

7-5 試験時等における注意事項

不正行為を行った者は、山形大学学部規則、山形大学学生の懲戒に関する規程及び本学部で制定しているガイドライン（P45参照）により厳正に処分するので、不正行為のないよう厳格な態度で臨むこと。

7-6 無届欠席について

無届で1年以上欠席した場合は、教授会の議を経て学部規則第25条第1項第2号による成業の見込みのない者として除籍することがある。

7-7 欠席届について

忌引きや病欠、各種実習、インターンシップ、大会参加等で授業を欠席する場合、教員に欠席の理由を届け出るための「欠席届」の様式がある。様式は必要に応じて理学部ホームページから取得し、授業担当教員へ提出すること。なお、この「欠席届」はその理由を教員に知らせるためのものであり、成績等についての取扱いは各教員により異なるので留意すること。

7-8 コースカリキュラムの選択について

1年次の1～2月頃にコースカリキュラムの選択説明会を開催するので、必ず出席すること。説明会の日時・場所等は掲示等により知らせる。

7-9 コースカリキュラムの変更について

コースカリキュラムは、学期ごとに変更することができる。ただし、コースカリキュラムの変更は卒業要件の変更を伴い、卒業に重大な支障をきたす恐れがある。このことを十分に考慮して、アドバイザー教員と相談の上、変更すること。

なお、コースカリキュラムの変更手続き等は、原則として以下のとおりとする。

【申請方法】 WebClass により申請。

ただし、申請する前に必ずアドバイザー教員の下承を得ること。

【申請期限】 前期から変更する場合：3月末日 後期から変更する場合：9月末日

ただし、卒業研究の研究室希望申請に伴う変更については、8月頃に行う研究室希望申請期限までに変更手続きを行う必要があるので注意すること。

7-10 研究室配属について

3年次の7～8月頃に研究室配属説明会を行う。3年次の後期から卒業研究に着手予定の者及び4年次から卒業研究に着手予定の者は必ず出席すること。説明会の日時・場所等は掲示により知らせる。

7-11 学位審査に係る相談・通報窓口について

山形大学では、本学が授与する学位の審査における透明性及び客観性を確保するため「学位審査に係る相談・通報窓口」を設置しています。学位の審査や取得に関して疑義が生じた場合は、エンロールメント・マネジメント部教務課に相談すること。

(電話：023-628-4841、メールアドレス：yu-kyoiku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

なお、相談等された方が、そのことを理由に不利益な取扱いを受けることはありません。

7-12 基盤力テストについて

本学では、学生が自らの学修を振り返り、見直しをもって学べるように、また自分の学位授与方針の達成度を確認するために「基盤力テスト」を設けている。詳細については、掲示等により知らせる。

7-13 大学院授業科目の早期受講制度について

卒業後に、引き続き本学大学院理工学研究科博士前期課程（理学系）に入学を希望する大学院接続プログラム履修者のうち、「IV 履修要項」の「4. 大学院授業科目の早期履修条件」（P 19）に示す条件を満たした者は、博士前期課程で開講される授業科目を4年次から早期に受講することができる。受講した科目の成績は、大学院理工学研究科入学前に判定が行われ、入学後に博士前期課程の単位として認定される。

7-14 教育職員免許状取得のための履修について

教員免許状を修得しようとする者は、「VII 教育職員免許状の取得」（P 38）を参照の上、卒業するまでに必要となる単位を修得しなければならない。また、4年次で教育実習を履修するためには、「VII 教育職員免許状の取得」の「6-1 教育実習の履修条件」（P 43）に記載の条件を満たしていなければならないので注意すること。

7-15 他大学の授業科目の履修について

他大学との協定に基づいて修得した単位は、本学の授業科目を修得したものとみなすことができる。なお、修得した単位の取扱いは、本学部の定めるところによる。

8. 改正

この要項の改正は、教授会の議による。

8-1 特例

教授会は、必要に応じ、この要項に対する特例を定めることができる。